



週報

2017~2018 年度 RI 会長 イアン H. S ライズリー
RI のテーマ 『変化をもたらす』
地区のテーマ 『RI 戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!』 かけー 細井保雄

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www.schuohrc.org> E-mail: schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 益子伸明 会長エクト 清水幸彦 副会長 松浦法子 幹事 浜野貴子

第 3 グループ内の例会日] 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1141 回 (7 月 11 日)例会の記録

点 鐘 益子伸明会長
合 唱 四つのテスト
第2副SAA 松浦会員 宮岡会員

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
32名	28名	86.67%	93.10%

会長の時間

益子伸明会長

クラブ会長を経験されている多くの先輩の前で言うのはわかりませんが、会長になるまでの何回かのセミナーで、会長は会長の時間でロータリーの話をしなればいけない、新聞・書籍の受け売りをしてはダメだと言われます。しかし、実際にクラブに戻るとロータリーの話だけでは興味が湧かない、話を聞く気にならない、面白い話が聞きたいと言われます。そもそも自分自身が興味のない話をしても、それを聞かされる側はもっと興味が湧かないと思います。ただし、今までのパスト会長のように10分間も自分の話で時間をもたせることは、私には難しいので、前半はロータリーのトピック的なものやレガシー的な語り継がれていることの話。後半はロータリー以外の話ということで進めさせていただこうと思ってい



ます。
それでは今回の前半は、RIスタッフによるロータリーのブランディングについてお話しさせていただきます。ロータリーボイスという、ロータリーのブログサイトの引用です。

最近、ロータリーで「ブランディング」という言葉を耳にした方も多いでしょう。「ロータリーのブランドって何？」と感じている方も少なくないはずですが、そんな方のために、今回はブランディングについてできるだけわかりやすくご説明します。

そもそも「ブランド」とは？

「ブランド」というと、シャネルやグッチなどの高級ブランドを思い浮かべますが、ブランドとはそれだけではありません。「ブランド」は「区別する」ために必要であり、他企業や競合団体との「差別化」に欠かせないものです。

例えば、見た目がほとんど同じバッグが2つある場合、ロゴを入れるなどして、一方が自社製、他方が他社製であることを顧客に示します。客はそのロゴを見て、品質なりイメージなりを連想し、それが購買の決断に大きな影響を与えます。

ここで非営利なロータリーなのになぜブランディングが必要なのか？という、

近年、ボランティア志向が強い若い人や、企業の社会的責任(CSR corporate social responsibility)に関心を

寄せる企業が増えています。また、非営利や共助活動への関心から、日本でも寄付文化が育ちつつあります。

それに伴って、日本でも多くの NPO 法人が活動するようになりました。

その中からロータリーを選んでもらうには、ロータリーの独自性を打ち出して他団体との違いを理解してもらう、つまり「差別化」が必要となります。そうしてはじめて、仲間を増やすための会員増強活動や、支援を募るためのファンドレイジングが成功するのです。

もちろん、前述のバッグの例のように、ロゴを入れれば OK というわけではありません。肝心なのは、そのロゴ、またはブランド名や組織名から人びとが何を連想するか、どんな期待を抱くかということです。そこで、人びとに共通の好ましいイメージを与えるために必要となるのが「ブランドの構築」、つまり「ブランディング」です。ロータリーでは近年、公共イメージの向上にも力を入れていますが、これはロータリーという「ブランド」を強化することにつながります。

それではロータリーのブランドについて。

ロータリーが行った調査によると、一般のロータリーへの認知度は概して低く、誤解も少なくありません。「高齢」「男性」「エリート主義」といったイメージも根強く、「週 1 回食事をしながらスピーチを聞くだけ」の会だと思っている人もいます。いくら仲間を増やそうとしても、イメージが悪かったり、そもそも何をしているかわからない団体に入会しようと思う人はいません。

一方、入会した人に聞いてみると、ロータリーの強みと魅力は「奉仕」と「親睦」であることがわかっています。これに加え、ロータリーは「リーダーシップ」「多様性」「高潔性」を価値観として掲げています。仲間と一緒に楽しみながら、リーダーシップを発揮し、地域社会を変えていこうとするのがロータリークラブです。これは、前述の「ボランティア志向」や「社会的責任」とも重なります。このようなブランドイメージが浸透すれば、「ロータリーに入会すればこんなことができる」という期待感をもって入会したり、支援してくれたりする人が出てくるでしょう。

ということでロータリーのブランディングが重要だというコラムをお伝えしました。

それではここからは後半として、今日は改めて私につ

いてもう少し知っていただこうと思い自己紹介をさせていただきます。

氏名は益子伸明といいます、益子という苗字は少ないので電話で漢字を説明する時、大人になってからは「利益のエキに子どものコです。」でほとんど通じますが、子どもの頃、何と言っていたのか覚えていません。また、名刺交換の時に「マスコと申します。」と言うと、難しい漢字ではないので、あ〜という感じで、「マスコさんではないのですね」と言われることもあります。56年生きてきて、益子(マスコ)さんと名刺交換したことは1回しかない記憶しています。知人も1人だけです。

生まれは新潟県の今は阿賀野市になっていますが、当時は北蒲原郡、村杉温泉というとてもひなびた温泉町です。新潟市から東の方に進んで田んぼが無くなり、森が始まるあたりです。今でも新潟の秘湯に選ばれているようですが、引越してから訪れたことはありません。3歳までしかいませんでしたが雪と森のイメージしか残っていません。父が公務員で当時の林野庁の営林署というところに勤めていたため、転勤が多かったと思います。その後新潟県内で数箇所、そして群馬県内で数箇所転勤をし、小学生から高校までは群馬県の前橋市で暮らしました。高校卒業後、私は東京に出ましたが、その後も父は栃木、福島、群馬と転勤を繰り返して、前橋で定年をむかえ、家も持ち今も前橋で夫婦仲良くくらししています。

18歳で東京に出てきて、電機音響を学ぶ専門学校に入りました。電気音響という変わった科目ですが、当時はアナログ全盛ですので、今はまるっきり環境が違うと思います。今は音も殆どデジタルで扱っていますが、当時は音や音楽の世界にはテープレコーダやいわゆるレコードなどアナログのものばかりでした。丁度ソニーのウォークマンが流行っていた時代です。ちなみにここに、マイクがあります。ダイナミック型という形ですが構造はとても簡単です。円形の膜が張っており、その上に電線が渦巻状に巻かれたコイルというのが接着されています。そのコイルの中に磁石が入っています。要するにマイクに向かって話す時膜が振動で揺れます。コイルが磁石の周りを移動するので、電磁石となり電気が発生します。これがマイクです。そしてここにスピーカーがありますが、構造はマイクと同じです。先程とは逆にコイルに電気を流すと電磁石の原

理でコイルが動き、膜も動きます。膜が動くとその振動が音となって聞こえます。こういった電気によって音が生まれる仕組みなどを学んでいました。まだパソコンもなく、マイコンと言っている時代で持ち運べるものはありませんでした。関数付きの電卓で手書きで計算や設計をしていました。今となっては、何も生活の役にはたっていませんが、テレビやオーディオなどの配線、パソコンの設置などに抵抗感が無いぐらいです。

卒業後、就職することになりますが、現在までに年金記録によると7つの会社で働いていたことになっています。もうこれ以上8つ目は無いと思いますが、このへんの話はまた別の機会に話させていただきます。

以上で会長の時間を終了させていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

浜野幹事

・年度計画書に訂正箇所がありました。53頁の 1月、5月、6月の日付が間違っておりましたのでお間違えの無いようお願い致します。

5月17日(火) ⇒ 5月15日(火) 周年記念予定日

・地区より『2017～2018年度 周年行事予定クラブ報告依頼』

・地区より『ロータリー財団に関する地区の現況報告』

・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より『ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ』のご案内。

・狭山市交通安全対策協議会より

『夏の交通事故防止運動に係る広報啓発活動の実施』

・第3グループ 各クラブより『年度計画書』 所沢 RC 入間南 RC 飯能 RC 所沢中央 RC 所沢東 RC

・例会変更 入間RC

・受贈会報 入間南RC 飯能RC

クラブ協議会

・クラブ研修リーダー(佐藤直前会長)

・出席向上委員会(若松委員長)

・会報委員会(片山委員長)

・プログラム委員会(小林委員長)

・社会奉仕委員会(佐藤委員長)

・国際奉仕委員会(佐々木委員長)

・青少年奉仕委員会(古谷委員長)

以上、年度計画書を基に本年度の活動方針を述べて頂きました。

ニコニコボックス

益子君 本年度、2回目のクラブ協議会、各委員長の皆様、宜しくお願いします。

浜野君 クラブ協議会、委員長の皆様宜しくお願い致します。

稲見君 益子会長年度の役員の皆様、頑張って下さい。

佐藤君 昨夜の川越の「謎の光」皆様ご存じですか？いったいあれは何なのでしょう？さて益子年度2回目です。初々しいメンバーで頑張っていきましょう。

清水君 クラブ協議会、各委員長の方よろしく願い致します。



◆次の例会

7月25日(火) 18:30～20:30

家族同伴夜間例会

於：喜代川

ゲスト：アルパ(ハーブ)演奏

倉品真希子様